

歴史的展開 その 1 第一次世界大戦まで

はじめに

international organization の二つの意味

歴史的展開 その 1

I. 「国家」の誕生

ローマ教皇を中心とする普遍的権威の崩壊

主権概念 Jean Bodin, « Six Livres de la République » (1576)

社会契約論の影響

Hobbes (« Leviathan » (1651)), Locke (« Two Treatises of Government » (1690)),
Rousseau (« Du contrat social » (1762))

Vattel, « Droit des Gens » (1758) 国際法理論の転機

II. 国際社会の組織化

A. 組織化の必要性

思想レヴェル Sully, Abbé de Saint Pierre, Kant

多数国間会議による問題の集団的解決

1648 ヴェストファーレン 30 年戦争

1713 ユトレヒト スペイン継承戦争

1814/15 ウィーン ナポレオン戦争

B. 組織化の初期形態

1. 会議制度

- ・ 会議は独立した organization とは言えない
- ・ しかし、organization プロセスの重要な段階

2. ライン川航行中央委員会

3. 関税同盟

4. 国際行政連合 international public union / international administrative union

(a) 電信 1865 Union télégraphique internationale

(b) 郵便 1874 Union postale universelle

度量衡(1875)・工業所有権(1883)・著作権(1886)……

5. 私的国際組織

- ・ 労働者連合 International Working Men's Association 1864
- ・ 国際女性協会 Association internationale des femmes 1868
- ・ 国際法学会 Institut de droit international 1873
- ・ 国際法協会 International Law Association 1873
- ・ 国際企業カルテル Nobel Trust Company 1886
- ・ 国際企業協議体 Baltic and White Sea Conference 1905
- ・ 国際商業会議所 Chambre du commerce internationale 1919

……

次回への予習課題

- ・ 国際連盟規約熟読
- ・ 戦間期政治外交史の復習